

保護者のみなさま

徳島市富田中学校長 大泉 計

## 令和4年度学校評価アンケート結果について

日頃は、本校の教育活動にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。  
さて、12月に実施いたしました学校評価アンケートの結果がまとまりましたので、裏面のおりお知らせいたします。  
また、分析結果の概要等については次のとおりです。

### 1 昨年度との比較

#### 【生徒】

◇プラス評価(A+B)が昨年度より多かった項目(抜粋) ( )内は昨年度との比較

運動会や文化祭・球技大会など、学校の行事は充実している。	93.2%(+4.4)
私は、困ったことがあったとき、気軽に先生に相談できる。	67.0%(+3.1)
緊急事態が起こったときの通報や避難の方法を知っている。	91.0%(+2.2)

#### ◆プラス評価(A+B)が昨年度より少なかった項目(抜粋)

私は、読書が好きである。	62.8%(-6.0)
私は、目標をもって学校生活を過ごしている。	79.2%(-5.8)
私の家庭での学習時間は(塾等の時間を含む)は、平均すると自分の[学年プラス1]時間以上です。	60.3%(-5.6)

#### 【保護者】

◇プラス評価(A+B)が昨年度より多かった項目(抜粋) ( )内は昨年度との比較

教職員は、発達段階に応じて、人権や生命を尊重する意識を育てようとしている。	92.5%(+1.8)
教職員は、生徒や保護者の願いに応えようと努力している。	92.2%(+1.3)
子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている。	86.2%(+1.0)

#### ◆プラス評価(A+B)が昨年度より少なかった項目(抜粋)

子どもは、授業がわかりやすいと言っている。	65.8%(-9.4)
学校は、教育目標や教育方針をわかりやすく伝え、特色ある教育活動をしている。	85.8%(-5.3)
教職員は、子どもに学力をつけている。	76.1%(-4.6)

### 2 分析結果の概要

- コロナ禍で教育活動に制限がかかる中、生徒の興味・関心や発達段階に応じた授業作りに努力したが、授業がわかりにくいと答えた生徒・保護者が増加した。来年度は、今年以上に保護者・生徒のニーズにしっかりと向き合い、各教科担任はもちろん、学力向上推進担当を中心に、わかりやすい授業作りに学校をあげて取り組む。
- 目標をもって学校生活を過ごしている生徒の割合が減少している。進路診断システムやキャリアパスポートを積極的に活用し、今の自分を知る機会を増やすことにより、生徒一人一人のキャリアプランニングにつなげていく。
- 生徒の読書離れが深刻である。本年度、コロナ禍もあり図書室の活用が不十分であった反省を生かし、生徒会や図書委員と連携し、様々なジャンルの本を紹介したり、朝の時間や放課後を活用して読み聞かせをすることにより、全ての生徒に読書の良さを伝えていく。

今回の調査では、生徒・保護者ともに昨年度より、多くの項目で厳しい評価をいただきました。全ての教職員にアンケート結果を周知し、『振り返り』をしっかりと行い、「子どもファースト」の教育の実現に向けて、工夫・改善をしてまいります。また、保護者アンケートの自由記述欄においても貴重な御意見を多数お寄せいただいております。この結果を真摯に受け止め、今後の学校運営に生かしてまいりたいと考えております。なお、「総括評価表」は、後日、富田中学校ホームページ上において公表いたします。